

Panasonic®

取扱説明書（基本編）

デジタルハイビジョンビデオカメラ

品番 HC-V480MS

安全上のご注意

準備

撮る

見る

残す

メニュー

保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書」(PDF形式)に記載されています。
Webサイトからダウンロードしてお読みください。(13ページ)

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる



詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>

AVCHD™

HDMI



DOLBY
DIGITAL

Progressive

DVQX1075XA
F0816AY2049

目次

準備

付属品 / 別売品	9
• 付属品 (9)	
• 別売品 (10)	
必ずお読みください	11
取扱説明書 (PDF 形式) を読む	13
• 「取扱説明書」(PDF 形式) を Web サイトからダウンロードする	(13)
各部の名前	14
電源の準備	17
• バッテリーを付ける / 外す	(17)
• バッテリーを充電する	(18)
• 充電時間と撮影可能時間の目安	(19)
カードに記録するには	20
• 本機で使えるカード	(20)
• SD カードを入れる / 出す	(21)
電源を入れる / 切る	22
モードを選ぶ	23
• 撮影モードと再生モードを 切り換える	(23)
• ビデオ撮影モードと 写真撮影モードを切り換える	(23)
タッチパネルの操作について	24
• くるくる回転メニューバーを 使う	(25)
時計を設定する	26
はじめてお住まいの地域を 設定するには	26
フォーマット	27

撮る

記録するメディアを選ぶ	27
ビデオを撮る	28
写真を撮る	29
ズーム	30
• 写真撮影モード時の ズーム倍率について	(30)
傾き補正	31
撮影モードを切り換える	32
• インテリジェントオート	(33)

見る

ビデオ / 写真を再生する	34
• 日付別に再生	(35)
• 消去	(36)
テレビにつないで見る	37

残す

SD カード / 内蔵メモリー間で コピーする	38
ブルーレイディスクレコーダーや ビデオなどでダビングする	39

メニュー

メニューを使う	42
メニュー一覧	43
●撮影設定	(43)
●写真設定	(44)
●セットアップ	(45)
●ビデオの管理	(47)
●シーン編集	(47)
●写真の管理	(48)

大事なお知らせ

画面の表示	49
メッセージ表示	52
故障かな!?と思ったら	53
HD Writer LE 3.0について	54
使用上のお願い	55
著作権について	57
記録可能時間の目安	60
仕様	61
保証とアフターサービス (よくお読みください)	64
無料修理規定	67
保証書	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

! 危険



- 指定以外のバッテリーパックを使わない
- バッテリーパックの端子部 (⊕・⊖) に金属物 (ネックレスやヘアピンなど) を接触させない
- バッテリーパックを分解、加工 (はんだ付けなど)、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- バッテリーパックを電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- バッテリーパックを炎天下 (特に真夏の車内) など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要 (寿命) になったバッテリーについては、56 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
- 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

！危険



- バッテリーパックの充電は、本体または専用充電器を使用する
- バッテリーパック VW-VQT380（別売）をワイヤレス充電する場合は、Φマークが付いている充電パッドを使用する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



- バッテリーパック VW-VQT380（別売）をワイヤレス充電する場合は、バッテリーパックと充電パッドの間に、金属異物がはさまった状態で充電しない

発熱や発火、やけどの原因になります。

！警告



- 異常・故障時には直ちに使用を中止する

- 異常があったときには、バッテリーを外す
 - ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
 - ・映像や音声が出ないことがある
 - ・内部に水や異物が入った
 - ・電源プラグが異常に熱い
 - ・本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。



- 雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。



- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない

たとえ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

!**警告**



電源プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づけるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- プラグの修理は、販売店にご相談ください。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない 火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。



メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠ 警告



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

！注意



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。

本機やバッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



AC アダプターの放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。



長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

付属品 / 別売品

付属品



以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2016年8月現在のものです。

<input type="checkbox"/> バッテリーパック VW-VBT190		<input type="checkbox"/> HDMI ミニケーブル K1HY19YY0021	
<input type="checkbox"/> AC アダプター VSK0815J		<input type="checkbox"/> USB 接続ケーブル K2KYYYY00236	
<input type="checkbox"/> DC ケーブル K2GHYY500002			

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

別売品

本機では以下の別売品がお使いいただけます。

品名（品番）

- バッテリーチャージャー (VW-BC10)
- バッテリーパック (VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380)
- AC アダプター (DMW-AC9)
- ソフトバッグ (VW-SBJ3)
- ソフトケース (VW-SCGS5/VW-SC1 *)
- ショルダーストラップ (VW-SST1)
- 標準三脚 (VW-CT45)
- サクションカップマウント (VW-SCA100)
- ビデオカメラマウント (ハンドルバー用) (RP-CMC10)
- アクセサリーキット (VW-ACT190/VW-ACT380)
- リモートパンチルター (VW-CTR1)
- HDMI ミニケーブル (RP-CDHM15/RP-CDHM30)

※ 予備バッテリーとして、バッテリーパック VW-VBT190 を収納できます。

別売品の品番は、2016年8月現在のものです。変更されることがあります。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

必ずお読みください

■ ビデオ撮影時の記録方式について

- 本機以外で撮影された動画は、本機では取り扱いできません。

本機は AVCHD^{※1}、MP4、iFrame の 3 種類の記録方式でビデオ撮影できます。

※ 1. AVCHD Progressive (1080/60p) に対応しています。

AVCHD とは：

ハイビジョンテレビでの再生やディスクの保存^{※2} に適しています。

※ 2. 1080/60p 記録した映像は、以下のように保存してください。

- HD Writer LE 3.0 でディスクにコピーする
- AVCHD Progressive 対応の当社製ブルーレイディスクレコーダーにコピーする

MP4 とは：

パソコンでの再生や編集に適した記録方式です。

- AVCHD の記録方式で記録したビデオと互換性はありません。

iFrame とは：

Mac (iMovie など) での再生や編集に適した記録方式です。

- AVCHD の記録方式で記録したビデオと互換性はありません。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影のときには、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機および SD カードや内蔵メモリーの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカード→「SD カード」
- ビデオ撮影モードで使える機能→
- 写真撮影モードで使える機能→
- 再生モードで使える機能→
- 再生モード（ビデオのみ）で使える機能→
- 再生モード（写真のみ）で使える機能→
- 記録方式「AVCHD」で記録したシーン→「AVCHD のシーン」
- 記録方式「MP4/iFrame」で記録したシーン、MP4(1280×720/30p)またはMP4(640×360/30p)で保存したシーン→「MP4/iFrame のシーン」
- 参照いただくページ→ P00

■ 内蔵メモリーの取り扱い

本機は記録メモリーを内蔵しています。ご使用の際は、以下の点に十分お気をつけください。

定期的に保存（バックアップ）をする

内蔵メモリーは一時的な保管場所です。静電気や電磁波、破損、故障などで大切なデータが消失しないよう、パソコンやディスクなどにコピーしてください。

- 内蔵メモリー、カードアクセス（認識、記録、再生、消去など）中に動作中ランプ [ACCESS] (P15) が点灯します。点灯中に下記の動作を行わないでください。内蔵メモリーが破損したり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
 - 電源を切る（バッテリーを外す）
 - USB 接続ケーブルを抜き差しする
 - 振動や衝撃を与える
- 本機の廃棄 / 贈渡につきましては取扱説明書（PDF 形式）をお読みください。

■ 露付き（レンズや液晶モニターが曇るとき）について

露付きは、屋外や寒い部屋から暖かい部屋に持ち込むなど、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の原因となりますのでお気をつけください。

温度差のある場所へ持ち込むときは、約 1 時間移動先の室温になじませると、露付きを防止することができます。（温度差が激しい場合は、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密閉してください）

露付きが起こった場合、バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと曇りが自然に取れます。

取扱説明書（PDF 形式）を読む

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書」（PDF形式）をお読みください。

「取扱説明書」（PDF 形式）を Web サイトからダウンロードする

「取扱説明書」（PDF 形式）は Web サイトからダウンロードできます。

<https://eww.pavc.panasonic.co.jp/hdw/oi/V480ms/>



準備

- URLやQRコードはセットアップメニューの[取扱説明書のWebサイト]でもご確認いただけます。
- くるくる回転メニューバーの□□□□の△（左側）/▽（右側）をタッチして、■ MENU を表示させる（P25）
 - 1) ■ MENU をタッチする
 - 2) 「セットアップ」をタッチする
 - 3) 「取扱説明書の Web サイト」をタッチする
 - 4) 設定したい項目をタッチする

「URL 表示」：

本機のモニターに Web サイトの URL を表示します。

「USB 接続」：

USB 接続ケーブルでパソコンと接続して Web サイトを表示します。

パソコンに表示される「OIBOOK」をクリックしてください。

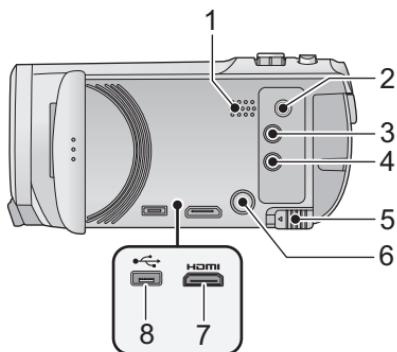
「QR コード表示」：

本機のモニターに QR コードを表示します。

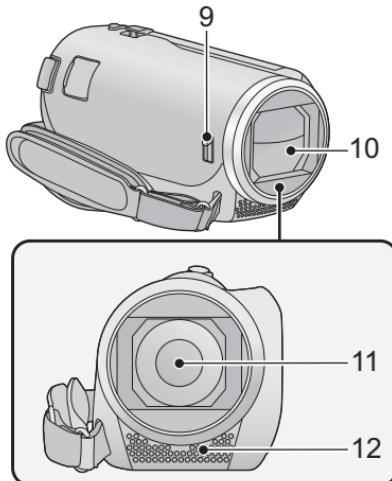
「取扱説明書」（PDF形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。（2016年8月現在）

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

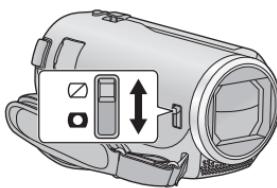
各部の名前



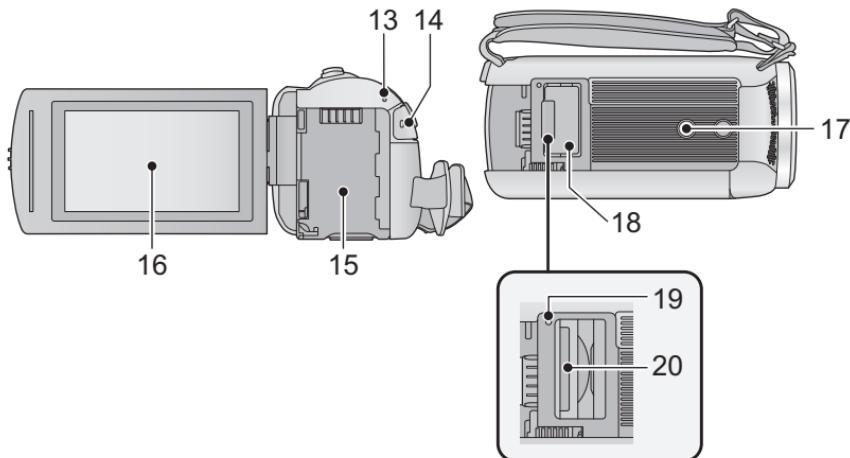
- 1 スピーカー
- 2 A/V 端子 (P41)
- 3 撮影 / 再生ボタン [] / [] (P23)
- 4 傾き補正ボタン [] (P31)
- 5 バッテリー取り外しレバー [BATT] (P17)
- 6 電源ボタン [] / [] (P22)
- 7 HDMI ミニ端子 (P37)
- 8 USB 端子 (P40)



- 9 レンズカバー開閉スイッチ
使用しないときは、レンズ保護のためレンズカバーを閉じてください。
 - スイッチをスライドさせて開く / 閉じる



- 10 レンズカバー
- 11 レンズ
- 12 内蔵ステレオマイク



13 動作表示ランプ (P22)

14 撮影開始 / 一時停止ボタン (P28)

15 バッテリー取り付け部 (P17)

16 タッチパネル / 液晶モニター (P24)

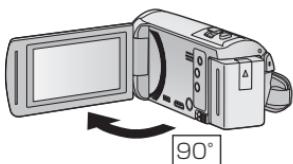
17 三脚取り付け穴

- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。当社標準三脚 VW-CT45 (別売) をお使いになることをお勧めします。

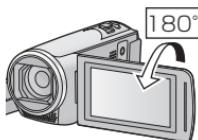
18 カード扉 (P21)

19 動作中ランプ [ACCESS] (P21)

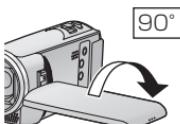
20 カード挿入部 (P21)



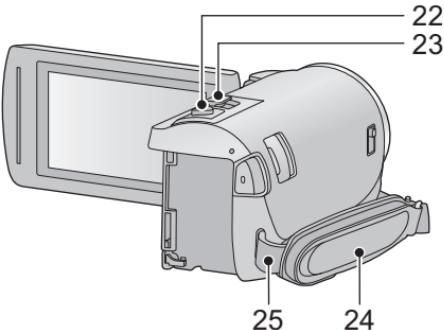
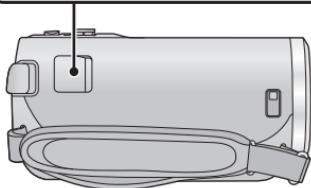
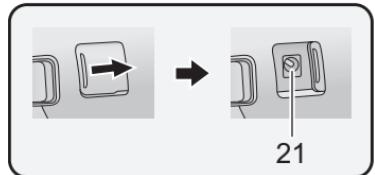
90°



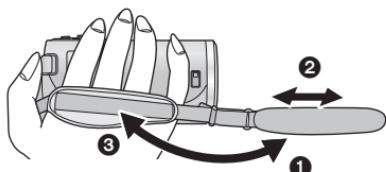
180°



90°



- 21 DC 入力端子 [DC IN] (P18)
 22 フォトショットボタン [] (P29)
 23 撮影時:ズームレバー [W/T] (P30)
 再生時:ボリュームレバー
 [- VOL +]
 サムネイル表示切り換え [/ Q]
 24 グリップベルト



- ① ベルトをめくる
 ② 手の大きさに合わせて長さを調整する
 ③ ベルトを留める
 25 ショルダーストラップ取り付け部

電源の準備

本機で使えるバッテリー（2016年8月現在）

本機で使えるバッテリーは VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380 です。

- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー（VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380）は、この機能に対応しています。（P56）

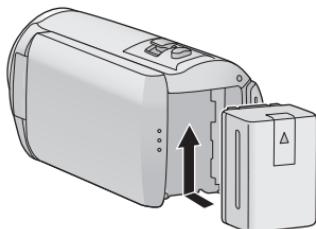
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

バッテリーを付ける / 外す

- 電源ボタンを押して、電源を切る（P22）

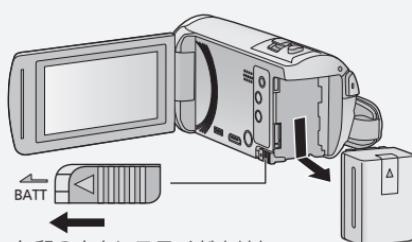
バッテリーを図の向きに取り付ける



「カチッ」と音がして、
ロックがかかるまで押し込む

バッテリーを外すには

必ず動作表示ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けて電源を切り、落下させないよう手で支えて取り外してください。



矢印の方向にスライドさせた
状態で取り外す

バッテリーを充電する

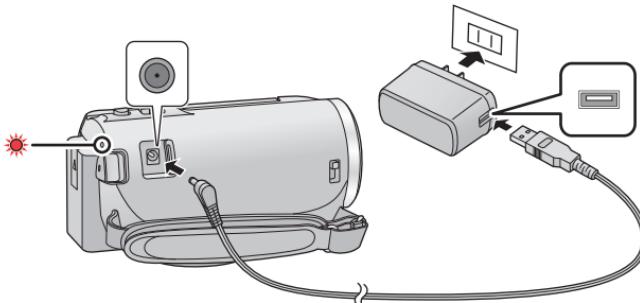
お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、十分に充電してからお使いください。

●充電は周囲の温度が 10 ℃～30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

AC アダプターで充電する

●AC アダプター、DC ケーブルは本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の AC アダプター、DC ケーブルは使用しないでください。

●電源を入れているときはバッテリーは充電できません。



1 DC ケーブルを AC アダプターと本機の DC 入力端子につなぐ

- DC ケーブルは、奥に突き当たるまで差し込んでください。

2 AC アダプターを電源コンセントに差し込む

動作表示ランプが約 2 秒間隔（約 1 秒点灯、約 1 秒消灯）で赤色点滅し、充電が始まります。充電が完了すると消灯します。

■ 電源コンセントにつないで使うときは

AC アダプターを接続して本機の電源を入れると、コンセントから電源を供給しながら使用できます。

AC アダプターに接続して撮影する場合は、停電やコンセント抜けで電源が切れることを防ぐため、バッテリーと一緒に使用してください。

- 電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。

■ 他の機器につないで充電するには

他の機器と USB 接続ケーブル（付属）でつないでバッテリーを充電することができます。

■ 海外で使うには

AC アダプターは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、AC アダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

充電時間と撮影可能時間の目安

■ 充電時間 / 撮影可能時間（温度 25 ℃ / 湿度 60%RH）

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間、撮影可能時間は変わります。

バッテリー品番 [電圧 / 容量 (最小)]	充電時間 (カッコ内は USB 充電時)	記録方式	記録モード	連続撮影 可能時間	実撮影 可能時間
付属バッテリー / VW-VBT190 (別売) [3.6 V/1940 mAh]	約 2 時間 20 分 (約 5 時間 20 分)	AVCHD	1080/60p PH	約 1 時間 50 分	約 55 分
			HA	約 1 時間 55 分	
			HG、HE	約 1 時間 55 分	約 1 時間
	約 3 時間 45 分 (約 9 時間 45 分)	MP4/ iFrame	1080	約 1 時間 50 分	約 55 分
			720	約 2 時間 10 分	約 1 時間 5 分
			iFrame	約 2 時間 15 分	約 1 時間 10 分
			1080/60p	約 3 時間 40 分	約 1 時間 55 分
VW-VBT380 (別売) / VW-VQT380 (別売) [3.6 V/3880 mAh]	約 3 時間 45 分 (約 9 時間 45 分)	AVCHD	PH、HA	約 3 時間 50 分	約 2 時間
			HG、HE	約 3 時間 55 分	
			1080	約 3 時間 40 分	約 1 時間 55 分
	約 4 時間 30 分 (約 12 時間 30 分)	MP4/ iFrame	720	約 4 時間 25 分	約 2 時間 15 分
			iFrame	約 4 時間 35 分	約 2 時間 20 分
			1080/60p	約 4 時間 30 分	約 2 時間 30 分

お知らせ

- 実撮影可能時間とは、撮影 / 停止、電源の入 / 切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。異常ではありません。

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 →  →  →  →  と表示が変わります。容量がなくなると  が赤色で点滅します。

カードに記録するには

本機は SD カードまたは内蔵メモリーにビデオや写真を記録することができます。
SD カードに記録したい場合は下記をお読みください。

本機で使えるカード

ビデオ撮影時は、SD スピードクラス*が 4 以上の SD カードをお使いください。

●使えるカードは 2016 年 8 月現在のものです。

カードの種類	記録容量
SD メモリーカード	512 MB ~ 2 GB
SDHC メモリーカード	4 GB ~ 32 GB
SDXC メモリーカード	48 GB ~ 128 GB

* SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例)

CLASS 4

最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/video/connect/>

- SDHC メモリーカード / SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに 対応しているか確認してください。
- 上記以外の SD カードは動作保証しておりません。また、32 MB 以下の SD カードはビデオ 撮影に使用できません。
- SDHC ロゴのない 4 GB 以上のメモリーカードや SDXC ロゴのない 48 GB 以上のメモリーカードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを図のように「LOCK」側 にすると、書き込みやデータの消去、フォーマットができな くなります。戻すと可能になります。

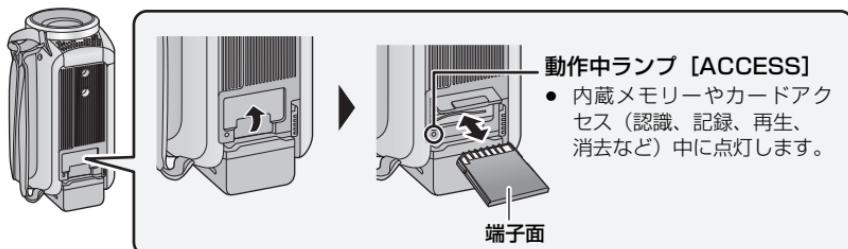


SD カードを入れる / 出す

準備

当社製以外の SD カードや他の機器でお使いになった SD カードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(P27)
フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。

動作中ランプの消灯を確認してください。



1 カード扉を開いて、カード挿入部に SD カードを入れる（出す）

- 入れるときは端子面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜いてください。

2 カード扉を閉じる

- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

お知らせ

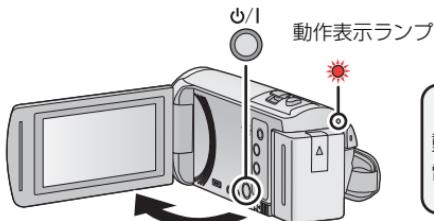
- SD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- SD カードの取り扱いについて詳しくは 56 ページをお読みください。

電源を入れる / 切る

電源ボタン、液晶モニターの開閉で電源を入 / 切できます。

電源ボタンで電源を入れる / 切る

液晶モニターを開き、電源ボタンを押して電源を入れる



【電源を切るには】

動作表示ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けてください。

動作表示ランプが点灯します。

液晶モニターで電源を入れる / 切る

液晶モニターを開くと電源が入り、閉じると電源が切れます。

通常ご使用の際は、液晶モニターで電源を入 / 切すると便利です。

- ビデオ撮影中は、液晶モニターを閉じても電源は切れません。
- 以下の場合は、液晶モニターを開いても電源は入りません。電源ボタンを押して、電源を入れてください。
 - お買い上げ時
 - 電源ボタンで電源を切った場合

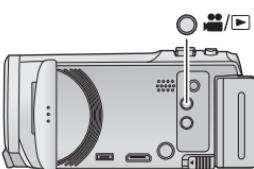
モードを選ぶ

撮影 / 再生ボタンを押すと、撮影モード（ビデオ撮影モード / 写真撮影モード）と再生モードを切り換えることができます。

撮影モード時に撮影切り換えアイコンをタッチすると、ビデオ撮影モードと写真撮影モードを切り換えることができます。

ビデオ撮影モード（P28）	ビデオを記録します。
写真撮影モード（P29）	写真を記録します。
再生モード（P34）	ビデオや写真を再生します。

撮影モードと再生モードを切り換える



撮影 / 再生ボタン

ボタンを押して、撮影モードと再生モードを切り替えます。

- 電源を入れたときは、撮影モードで起動します。

準備

ビデオ撮影モードと写真撮影モードを切り換える

液晶モニター（タッチパネル）に表示される撮影切り換えアイコンをタッチして、ビデオ撮影モードと写真撮影モードを切り替えます。

1 撮影 / 再生ボタンを押して、撮影モードに切り換える

- 画面に撮影切り換えアイコンが表示されます。

	ビデオ撮影モード時
	写真撮影モード時

2 撮影切り換えアイコンをタッチする

- タッチパネルの操作については、24ページをお読みください。

(ビデオ撮影モード時)



撮影切り換えアイコン

【撮影切り換えアイコンを表示させるには】

タッチしない状態が続くと、撮影切り換えアイコンの表示が消えます。再度表示させるには画面をタッチしてください。

お知らせ

- 写真撮影モード時または再生モード時に撮影開始 / 一時停止ボタンを押すと、ビデオ撮影モードに切り換わります。ビデオ / 写真の再生中などは、撮影開始 / 一時停止ボタンを押しても切り換わらない場合があります。

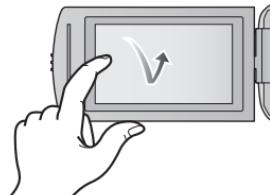
タッチパネルの操作について

指で液晶モニター（タッチパネル）を直接タッチして操作します。

■ タッチする

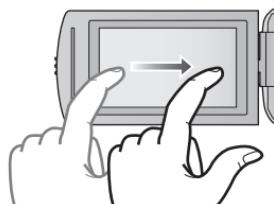
タッチパネルを押して離す動作で選択します。

- アイコンの中央部をタッチしてください。
- タッチパネルに触れている状態で、他の箇所をタッチしても動作しません。



■ タッチしながらスライドする

タッチパネルを押したまま動かす動作です。



■ よく使うアイコンについて

△/▽/◀/▶ :

ページを切り換えたり、設定するときにタッチします。

◀ :

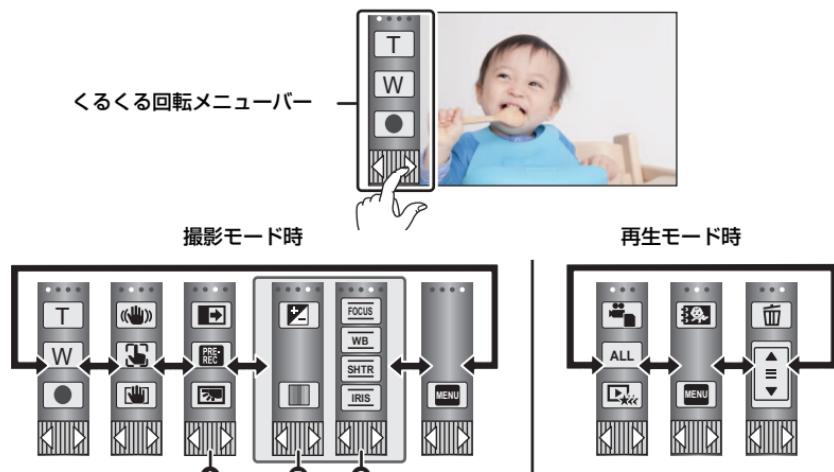
前の画面に戻るときにタッチします。



くるくる回転メニューbaruを使う

（くるくる回転メニューbaru）の△（左側）/▽（右側）をタッチして操作アイコンを切り換える

- くるくる回転メニューbaruをタッチしながら左右にスライドさせて、操作アイコンを切り換えることもできます。



- 表示する操作アイコンを変更することができます。
- インテリジェントオートプラスモード、クリエイティブコントロールモードのジオラマ撮影/8ミリムービー/サイレントムービーモード時のみ表示されます。
- クリエイティブコントロールモードのインターバル記録時、シーンモード時、マニュアルモード時のみ表示されます。

【くるくる回転メニューbaruを表示させるには】



撮影時はタッチ操作しない状態が続くと、くるくる回転メニューbaruの表示が消えます。
再度表示させるには、（）をタッチしてください。

お知らせ

- ボールペンなど、先のとがった硬いものでタッチしないでください。

時計を設定する

お買い上げ時は時計設定はされていません。必ず時計設定を行ってください。

- 電源を入れたとき、「お住まいの地域と時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選び、以下の操作で設定してください。
 - 「はじめてお住まいの地域を設定するには」の手順 2
 - 「時計を設定する」の手順 2～3

1 メニュー設定する (P42)

MENU :「セットアップ」→「時計設定」

2 合わせる項目(年/月/日/時/分)をタッチし、**△/□**で数字を合わせる



ワールドタイム設定表示：
● (ホーム) /  (旅行先)

- 2000 年から 2039 年まで設定できます。

3 「決定」をタッチする

- 「終了」をタッチして設定を終了します。

はじめてお住まいの地域を設定するには

「ワールドタイム設定」からお住まいの地域を設定することができます。

1 メニュー設定する (P42)

MENU :「セットアップ」→「ワールドタイム設定」

- メッセージが表示されます。「決定」をタッチしてください。

2 **□/□**をタッチしてお住まいの地域を選択し、「決定」をタッチする

- 時計設定されていない場合、現在の時刻は「— : —」で表示されます。

現在の時刻



GMT (グリニッジ標準時)
との時差

お知らせ

- お住まいの地域の変更、旅行先の地域の設定などについては取扱説明書 (PDF 形式) をお読みください。

フォーマット

フォーマットすると、すべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンやディスクなどに保存しておいてください。

MENU : 「セットアップ」 → 「メディアフォーマット」 → 希望のメディア

「内蔵メモリー」 / 「カード」 / 「HDD」 *

* USB ハードディスク接続時に表示されます。

お知らせ

- フォーマット中は電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。

フォーマットは本機で行ってください。(パソコンなど他の機器ではフォーマットしないでください。本機で使用できなくなる場合があります)

準備

撮る

記録するメディアを選ぶ

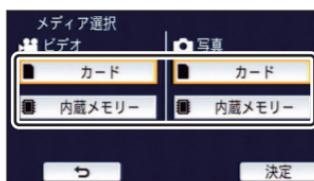
ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアを、それぞれカードまたは内蔵メモリーに設定できます。

- 1 撮影モードにする (P23)
- 2 メニュー設定する (P42)

MENU : 「メディア選択」

- 3 ビデオを記録するメディアと
写真を記録するメディアをタッチする
 - ビデオと写真それぞれに設定したメディアが
黄色の枠で囲まれます。

- 4 「決定」をタッチする



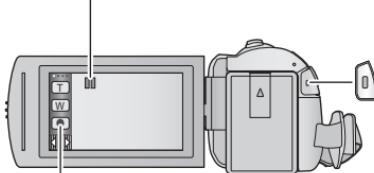
ビデオを撮る 凸

- 電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。(P14)

- 1 液晶モニターを開いて、
ビデオ撮影モードにする (P23)
- 2 撮影開始 / 一時停止ボタンを
押して撮影を始める



撮影を開始すると
■が●に変わります。



- 3 撮影開始 / 一時停止ボタンをもう
一度押して撮影を停止する

- 撮影ボタンアイコンをタッチして撮影を開始 / 停止することもできます。

■ ビデオ撮影時の画面表示について

HG1080	記録モード
残 1 時間 20 分	残り記録可能時間の目安 ● 1分未満になると赤色点滅します。
0h00m00s	撮影の経過時間 ● h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。 ● 撮影の一時停止ごとに 0h00m00s に戻ります。



- タッチ操作しない状態が続くと、画面表示が消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- 残り記録可能時間は 30 分以下になると常時表示されます。

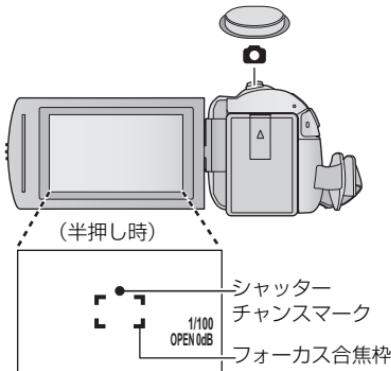
写真を撮る

●電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。(P14)

- 1 液晶モニターを開いて、写真撮影モードにする (P23)
- 2 (オートフォーカス時のみ)
フォトショットボタンを半押しする



- 3 全押しする



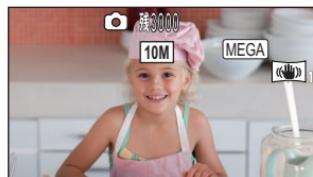
撮
る

シャッターチャンスマーカ

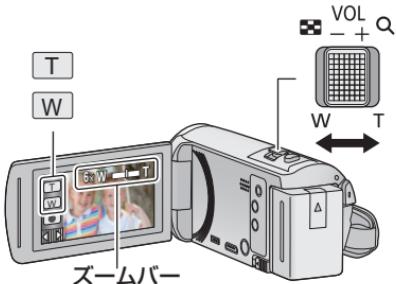
- (白点滅) : ピント合わせ中
- (緑点灯) : ピントが合ったとき
- マークなし : ピントが合わなかったとき

■ 写真撮影時の画面表示について

	写真動作表示 (P49)
残 3000	残り記録可能枚数 ●「0」になると赤色点滅します。
10M	記録画素数
MEGA	MEGA OIS
	手ブレ補正



- タッチ操作しない状態が続くと、画面表示が消えます。再度表示する場合は、画面をタッチしてください。
- 残り記録可能枚数は 200 枚以下になると常時表示されます。

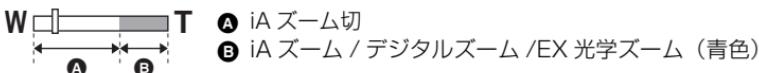


ズームレバー / ズームボタンアイコン
T側：大きく撮る（ズームイン：拡大）
W側：広く撮る（ズームアウト：広角）

- ビデオ撮影時の最大ズーム倍率は「ズームモード」で設定できます。

■ ズームバーについて

ズーム操作中はズームバーが表示されます。



■ ズーム速度について

- ズームレバーは動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- ズームボタンアイコンのズーム速度は一定です。

写真撮影モード時のズーム倍率について

写真撮影モード時は、画質を劣化させずにズーム倍率を最大100倍まで拡大できます。
(EX光学ズーム)

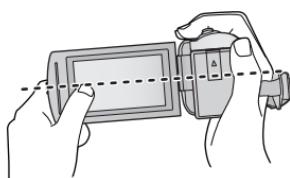
- 写真撮影モード時の最大ズーム倍率は、「記録画素数」の設定によって変わります。

お知らせ

- ズーム操作中にズームレバーから指を離すと、操作音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- ズーム倍率が最大倍率のときは、約2.2m以上でピントが合います。
- ズーム倍率が1倍のときは、レンズから約2cmまで近づいて撮ることができます。

傾き補正

本機の水平方向の傾きを検出し、傾きを自動で水平に補正します。



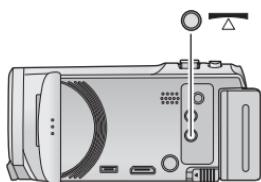
(\triangle (標準) 設定時)



(\triangle s (強) 設定時)



—— 傾き補正時
- - - - - 傾き補正なし



傾き補正ボタン

ボタンを押すごとに、傾き補正が切り換わります。

\triangle (標準) \rightarrow \triangle s (強) \rightarrow 切

\triangle (標準) : 傾きを補正します。

\triangle s (強) : 傾きをより強く補正します。

切 : 設定を解除します。

- 傾きが補正範囲を超えていている場合はアイコンが変わります。

\triangle / \triangle s	傾きが補正されているとき
\triangle / \triangle / \triangle s / \triangle s	傾きが補正範囲を超えていているとき

- 補正範囲を超えたときは、 \triangle / \triangle sが表示される位置まで本機を動かしてください。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は \triangle (標準) です。
- アイコンが傾きを正しく表示できる範囲は、水平方向約45°になります。
- 「水準器」を「入」にすると解除されます。
- 三脚を使って水平な映像を撮影する場合は、「水準器」を使って本機を取り付けてから、再度「傾き補正」を \triangle (標準) または \triangle s (強) にして使用してください。
- 傾き補正の切り換え時に、画面が一瞬黒くなることがあります。
- \triangle (標準) / \triangle s (強) 設定時は、画像の大きさが変わります。
- ビデオ撮影中またはPRE-REC中は設定できません。

撮る

撮影モードを切り換える 凸 ◎

1 撮影モードボタンアイコンをタッチする



2 希望の撮影モードボタンをタッチする



モード	効果
iA (インテリジェントオート) ^{※1} iA (インテリジェントオート) ^{※2}	撮影状況に適したインテリジェントオートモードに切り替えます。(P33)
iA+ (インテリジェントオートプラス) ^{※1} iA+ (インテリジェントオートプラス) ^{※2}	インテリジェントオートモードに明るさと色合いの設定を加え撮影できます。
クリエイティブコントロール ^{※1}	映像に効果を加えたビデオ撮影ができます。
SCN (シーンモード)	撮りたい場面に合わせてシャッター速度や絞りなどが自動で調整されます。
MNL (マニュアル)	シャッター速度、フォーカス、ホワイトバランス、アイリス（絞り・ゲイン）の設定ができます。

※ 1. ビデオ撮影モード時のみ表示されます。

※ 2. 写真撮影モード時のみ表示されます。

撮りたいものに本機を向けるだけで、撮影状況に適した以下のモードになります。

モード	効果
 (人物)	顔を検出し、自動でピントを合わせ、きれいに映るように明るさを調整します。
 (風景)	背景の空が白飛びする場面でも、白飛びをさせず風景全体を鮮やかに撮影できます。
 (スポットライト) ^{※1}	極端に明るい被写体をきれいに撮影できます。
 (ローライト) ^{※1}	薄暗い屋内や夕暮れ時でもきれいに撮影できます。
 (夜景) ^{※2}	シャッター速度を遅くすることにより、夜景を鮮やかに撮影できます。
 (マクロ) ^{※2}	被写体に近づいて撮影できます。
 (ノーマル) ^{※1}	上記のモード以外でコントラストを調整し、きれいな映像にします。
 (ノーマル) ^{※2}	

※ 1. ビデオ撮影モード時ののみのモード

※ 2. 写真撮影モード時ののみのモード

お知らせ

- 撮影状況によっては、希望のモードにならない場合があります。
- 人物 / スポットライト / ローライトモード時は、顔を検出すると白色の枠で囲されます。また人物モード時は、より大きく画面の中心に近い顔が、オレンジ色の枠で囲されます。
- 夜景モード時は、三脚の使用をお勧めします。
- 顔の大きさや傾きまたはデジタルズーム使用時など、撮影状況によっては顔が検出できないことがあります。

ビデオ / 写真を再生する □

(SDカードにビデオ撮影をした場合の画面です)

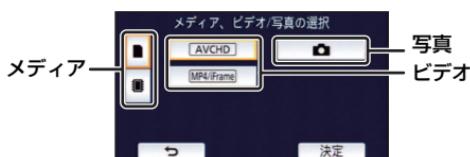


1 再生モードにする (P23)

2 プレイモード選択アイコンをタッチする (P25)

- メニューからも設定できます。
「ビデオの管理」または「写真的管理」→「メディア、ビデオ / 写真」

3 再生したいメディアとビデオ / 写真をタッチする



- 「決定」をタッチしてください。

4 (「AVCHD」または「MP4/iFrame」をタッチした場合) 再生したい記録方式をタッチする

- 「AVCHD」選択時

「ALL AVCHD」 / 「1080/60p」 /
「1080/60i」

- 「MP4/iFrame」選択時

「ALL MP4/iFrame」 / 「1080/60p」 /
「720/30p」 / 「360/30p」 / 「iFrame」

- 項目をタッチするとサムネイル表示に記録モードアイコンが表示されます。
(AVCHD、1080/60p、1080/60i、MP4/iFrame、1080、720、360、iFrame)
- 「ALL AVCHD」または「1080/60i」をタッチすると、サムネイルに以下のアイコンが表示されます。
 - AVCHD「1080/60p」のシーン : **60p**
 - AVCHD「PH」のシーン : **PH**
 - AVCHD「HA」のシーン : **HA**
 - AVCHD「HG」のシーン : **HG**
 - AVCHD「HE」のシーン : **HE**

- 「ALL MP4/iFrame」をタッチすると、サムネイルに以下のアイコンが表示されます。
 - MP4「1080/60p」のシーン : 
 - MP4「720/30p」のシーン : 
 - MP4「360/30p」のシーン : 
 - iFrameのシーン : 

5 再生するシーンまたは写真をタッチする

- 次の（前の）ページを表示するには
 - サムネイル表示をタッチしながら上に（下に）スライドする
 - くるくる回転メニューバーを切り換えて、サムネイルスクロールレバーの▲（上側）/▼（下側）をタッチする

6 操作アイコンをタッチして再生操作する



操作アイコン

ビデオ再生		写真再生	
▶/■	再生 / 一時停止	▶/■	スライドショーの開始 / 一時停止
◀◀	早戻し再生*	◀■	前の写真を再生
▶▶	早送り再生*	■▶	次の写真を再生
■	停止してサムネイル表示に戻る	■	停止してサムネイル表示に戻る

* 2回タッチすると、早戻し / 早送り速度が速くなります。(画面表示が◀◀/▶▶になります)

- タッチ操作しない状態が続くと、操作アイコンや画面表示が消えます。
再度表示する場合は、画面をタッチしてください。

見る

日付別に再生 ▶

同じ日に撮影されたシーンまたは写真のみを続けて再生します。

1 日付選択をタッチする (P25)



2 再生したい日付をタッチする

同じ日に撮影されたシーンまたは写真のみがサムネイル表示されます。

3 再生を始めたいシーンまたは写真をタッチする

消去したシーン / 写真は元に戻りませんので、記録内容を十分に確認してから消去の操作を行ってください。

- 撮影 / 再生ボタンを押して、再生モードに切り換える

- 再生中のシーンまたは写真を消去するには

消去したいシーン、または写真を再生中に
血をタッチする



- サムネイル表示からシーンまたは写真を消去するには

- 消去したいシーンまたは写真のサムネイル表示に切り換える (P34)

1 血をタッチする (P25)

- サムネイル表示が1シーン表示の場合、ハイライト & 時間検索の場合は、表示中のシーンまたは写真が消去されます。



2 「全消去」、「複数消去」または「一枚消去」をタッチする

- 「全消去」を選ぶと、サムネイル表示されているすべてのシーンまたは写真が消去されます。
(日付別に再生しているときは、選択している日付のすべてのシーンまたは写真が消去されます)
- プロテクト設定されたシーンまたは写真は消去されません。

3 (手順2で「複数消去」を選んだ場合) 消去するシーンまたは写真をタッチする

- タッチするとシーンまたは写真が選択され、血が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- 最大 99 シーンまで続けて選択できます。

(手順2で「一枚消去」を選んだ場合)

消去するシーンまたは写真をタッチする

4 (手順2で「複数消去」を選んだ場合) 「消去」をタッチする

- 他のシーンまたは写真も続けて消去するには、手順3～4を繰り返してください。

テレビにつないで見る ▶

お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。
接続する端子によって画質が変わります。

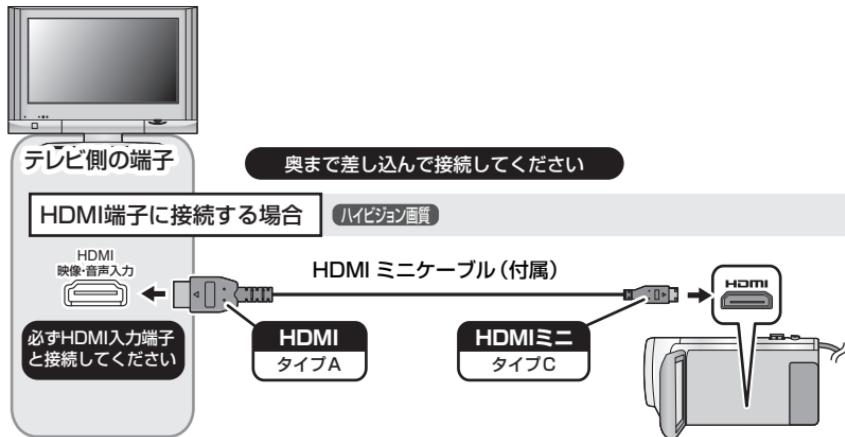
高画質

HDMI端子

映像端子

- 付属のHDMIミニケーブルをお使いください。
- 本機をHDMI対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像を高画質・高音質で楽しむことができます。

1 本機とテレビをつなぐ



2 テレビの入力切換を選ぶ

- 例:HDMI端子に接続時「HDMI」(接続するテレビや端子によって入力表示名は変わります)
- テレビの入力設定(入力切換)、音声入力設定を確認してください。(詳しくは、テレビの説明書をお読みください)

3 本機を再生する

SD カード / 内蔵メモリー間でコピーする ▶

本機で記録したビデオ / 写真を、本機に入れた SD カードと内蔵メモリーの間でコピーすることができます。

■ コピー先の使用領域を確認する

「メディア情報表示」で SD カードや内蔵メモリーの使用領域を確認できます。

コピーする

- SD カードに空き容量がほとんどない場合は、SD カードのすべてのデータを消去してコピーするかどうかの確認メッセージが出ます。消去されたデータは元に戻すことができませんので、お気をつけください。
- コピーにかかる時間の目安は取扱説明書（PDF 形式）をお読みください。

1 撮影 / 再生ボタンを押して、再生モードに切り換える

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。

2 メニュー設定する

 :「コピー」

「■ → □」 : SD カードから内蔵メモリーにコピーする

「■ → ●」* : SD カードから USB ハードディスクにコピーする

「● → ■」 : 内蔵メモリーから SD カードにコピーする

「● → ●」* : 内蔵メモリーから USB ハードディスクにコピーする

* USB ハードディスク接続時のみ表示されます。

- 「● → ■」選択時は、記録形式の変換が行えます。

記録形式の変換をする必要がない場合は、「いいえ」をタッチしてください。

記録形式の変換をする場合は、「はい」をタッチしてコピー方法を選択してください。

3 画面表示に従い、希望の項目をタッチする

-  をタッチすると、1 つ前の手順に戻ります。
- (シーン選択時)
タッチするとシーンが選択され、 が表示されます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- (日付選択時)
タッチすると日付が選択され、赤色で囲まれます。解除するにはもう一度タッチしてください。
- 最大 99 シーン / 99 日付まで続けて選択できます。
- コピーに必要な SD カードが 2 枚以上のときは、画面の指示に従ってカードを交換してください。

4 コピー完了のメッセージが出たら、「終了」をタッチする

- コピー先のサムネイル画面が表示されます。

ブルーレイディスクレコーダーやビデオなどで ダビングする

■ ダビングする前の確認

お使いのダビングする機器をご確認ください。

ダビングする機器	ダビング画質	ダビングするには
SD カードスロット がある	ハイビジョン画質*	SD カードを直接入れる (P40) 
USB 端子がある	ハイビジョン画質*	付属の USB 接続 ケーブルでつなぐ (P40) 
SD カードスロット、 USB 端子がない	標準画質 ハイビジョン (AVCHD) 対 応機器以外でも再生できる ので、ダビングして配る場合 などに便利です。	市販の映像・音声コード (4 極ミニプラグ) で つなぐ (P41) 

* お使いの機器によっては、ハイビジョン (AVCHD) または MP4 (iFrame) に対応していない場合があります。

その場合は、市販の映像・音声コードをつないで標準画質でダビングしてください。(P41)

- SD カードスロット、USB 端子、映像・音声コードをつなぐ端子の場所は、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

残
す

本機で記録したシーンは、それぞれの記録方式や記録モードに対応した当社製
ブルーレイディスクレコーダーまたは DVD レコーダーにダビングできます。

本機で撮影した SD カードを直接入れてダビングできる機器、USB 接続ケーブルで
つないでダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認く
ださい。

<http://panasonic.jp/support/video/connect/>

ハイビジョン画質でダビングする ▶

■ SD カードスロットがある機器でダビングする

SD カードを直接入れてダビングすることができます。

- 内蔵メモリーのシーンや写真を SD カードにコピーするには (P38)



■ USB 端子がある機器でダビングする

USB 接続ケーブルをつないでダビングすることができます。

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせずに使えます。
- 本機の電源を入れる



1 本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐ

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

2 本機の画面上で「レコーダー」をタッチする

- 「レコーダー」以外をタッチした場合は、USB 接続ケーブルを接続し直してください。

3 ダビングするメディアをタッチする

- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。画面をタッチすると点灯します。

本機の画面表示について

内蔵メモリーにアクセス中は が、SD カードにアクセス中は が表示され、動作中ランプが点灯します。

- 記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中は USB 接続ケーブルや AC アダプター、バッテリーを外さないでください。

4 ブルーレイディスクレコーダーを操作して、ダビングする

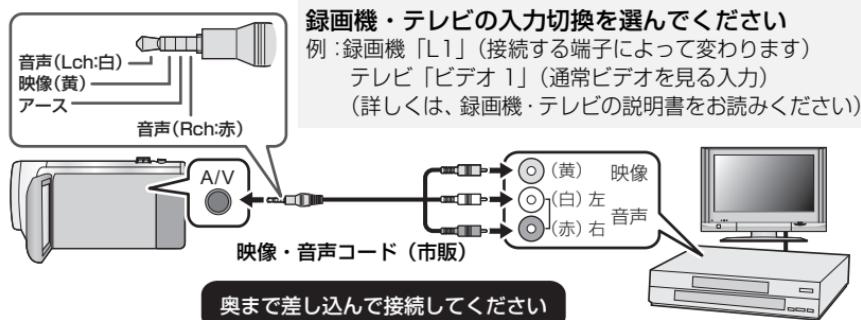
- ダビング中に、本機の画面上の「メディア切換」をタッチしないでください。

お知らせ

- 必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。(付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません)

従来の標準画質でダビングする

- SDカードスロットやUSB端子がない機器、またはビデオなどでダビングする市販の映像・音声コード（4極ミニプラグ）をつないでダビングできます。
- ACアダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせずに使えます。



- 撮影 / 再生ボタンを押して、再生モードに切り換える

- 1 本機と録画機をつないで、本機で再生を始める
- 2 録画機で録画を始める

- 録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

残す

メニューを使う

- くるくる回転メニューバーの [] の ▲ (左側) / ▼ (右側) をタッチして、[MENU] を表示させる (P25)

1 [MENU] をタッチする



■ [ガイド] ガイド表示について

[ガイド] をタッチしてからサブメニュー や項目をタッチすると、機能の説明と設定確認のメッセージが表示されます。

- メッセージ表示後、ガイド表示設定は解除されます。

2 トップメニューをタッチする



3 サブメニューをタッチする



- [▲]/[▼] をタッチすると、次の(前の)ページを表示します。

4 項目をタッチして設定する

5 「終了」をタッチしてメニュー設定を終了する

メニュー一覧

詳しくは取扱説明書（PDF形式）をお読みください。

撮影設定

 :「撮影設定」→希望のメニュー項目

 シーンモード	撮りたい場面に合わせて、シャッター速度や絞りなどが自動で調整されます。 • クリエイティブコントロールモードのインターバル記録モード時のメニュー表示されます。
 ズームモード	ビデオ撮影モード時の最大ズーム倍率を設定します。
 手ブレ補正	ビデオ撮影モード時の手ブレ補正の設定を変更します。
 手ブレ補正	写真撮影モード時の手ブレ補正の設定を変更します。
 記録方式	ビデオの記録方式を切り替えます。
 記録モード	記録するビデオの画質と記録方式を切り替えます。「記録方式」の設定によって、設定できる記録モードが変わります。
 PRE-REC	撮影開始 / 一時停止ボタンを押す約3秒前からの映像や音声を記録します。
 リレー記録	ビデオ撮影中に、内蔵メモリーの容量がなくなった場合でも、SDカードへ続けて記録することができます。（内蔵メモリーからSDカードへのみリレー記録できます）
 顔検出枠表示	検出された顔を枠で表示します。
 ハイブリッド O.I.S.	「入」に設定すると、歩きながら撮影する場合や手持ちで遠い被写体をズームして撮影する場合に、より強い手ブレ補正ができます。
 フェード	撮影を開始すると映像と音声が数秒かけて徐々に現れ（フェードイン）、撮影を一時停止すると、映像と音声が数秒かけて徐々に消えます（フェードアウト）。
 フェード色	フェード時の色を設定できます。
 撮影ガイドライン	映像が水平になっているか確認できます。構図のバランスを見る目安にもなります。
 水準器	本機の水平 / 垂直方向の傾きを水準器で表示します。
 うっかり撮り防止	ビデオ撮影中に、本機が水平方向から逆さまや横倒しになると、自動的に撮影を一時停止します。

 オートストローシャッター	暗い場所でシャッター速度を遅くすることによって、明るく撮ることができます。
 逆光補正	逆光で被写体の後ろ側から光が当たって暗くなるのを防ぐため、画面の映像を明るくします。
 コントラスト視覚補正	暗くて見えにくい部分を明るくするのと同時に、明るい部分の白飛びを抑えることで、暗いところも明るいところもきれいに撮れます。
 暗部補正	暗くて見えにくい部分を明るくして撮れます。
 テレマクロ	被写体のみにクローズアップしてピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。
 ナイトモード	暗い場所（最低照度：約 1 lx）でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。
 デジタルシネマカラー	より鮮やかな色でビデオを記録します。
 撮影アシスト	本機を速く動かした場合にメッセージが表示されます。
 風音低減	内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。
 マイク設定	内蔵マイクの録音設定を変更できます。
 マイクレベル	撮影時の内蔵マイクの入力レベルを調整します。
 画質調整	撮影時の映像の画質を調整します。 画質調整時はテレビなどに出力して調整してください。 • ビデオ撮影モードと写真撮影モードを切り換えると設定は変わりません。
 MFアシスト	ピントの合っている部分が青色で表示されます。

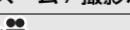
写真設定

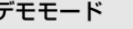
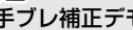
MENU : 「写真設定」 → 希望のメニュー項目

記録画素数	記録画素数が大きいほど、プリント時に鮮明な画像になります。
セルフタイマー	タイマーを使って写真を撮影できます。
シャッター音	写真撮影時にシャッター音が出ます。

セットアップ

 :「セットアップ」→希望のメニュー項目

 画面表示	画面情報表示の表示方法を設定します。
 時計設定	時計を設定します。
 ワールドタイム設定	お住まいの地域と旅行先を選び、旅行先の時刻を表示、記録することができます。
 サマータイム時計連動設定	「ワールドタイム設定」でサマータイム設定にすると、以下の時間を1時間進めます。 - お住まいの地域を設定する場合：現在の時刻 - 旅行先の地域を設定する場合：旅行先の時刻
 日時表示	年月日・時刻の表示を切り換えられます。
 表示スタイル	年月日の表示スタイルを切り換えられます。
 ズーム / 撮影ボタン表示	ズームボタンアイコン (T/W) と撮影ボタンアイコン (■) の表示方法を設定します。
 手振れロック表示	手振れロック表示アイコン (■) の表示方法を設定します。
 外部表示	本機の画面に表示されている情報（操作アイコンなど）をテレビ画面に表示 / 非表示することができます。
 エコモード（バッテリー）	約5分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。
 エコモード（AC）	ACアダプター接続時に約15分間操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。
 お知らせ音	タッチパネル操作時や、撮影の開始や停止、電源の入 / 切などを音で確認できます。「切」にすると、撮影の開始 / 終了時に音が鳴りません。
 操作アイコン登録	くるくる回転メニューバーに表示する操作アイコンを変更することができます。お好みの操作アイコンを3つ登録してください。
 パワーレンズ	屋外などの明るい場所でも液晶モニターを見やすくします。
 液晶調整	液晶モニターの明るさや色の濃さを調整します。
 HDMI出力解像度	HDMI出力の映像方式を切り替えます。
 ビエラリンク	ビエラリンク対応機器と自動的に連動させます。

 接続するテレビ	テレビの画面の比率に合わせて設定すると、映像を正しく表示できるようになります。(テレビの設定を確認してください)
 初期設定	メニューをお買い上げ時の設定に戻します。
 文字カーソル自動移動	文字入力時に入力文字を約1秒で確定し、カーソルが右に移動します。同じキーの文字を続けて入力する場合など、カーソルの移動を行わず入力できます。
 番号リセット	次に撮影されるMP4/iFrameと写真のファイル番号を0001にします。
 メディアフォーマット	27ページをお読みください。
 メディア情報表示	SDカードや内蔵メモリーの使用領域と残り記録可能時間を確認できます。
 バージョン表示	本機のファームウェアのバージョンが表示されます。
 バージョンアップ	本機のファームウェアのバージョンアップを行います。
 デモモード	本機の紹介（デモ）を始めます。
 手ブレ補正デモ	手ブレ補正の紹介（デモ）を始めます。
 Eye-Fi 転送*	「入」に設定すると、転送可能なファイルが自動的に転送されます。
 Eye-Fi ダイレクト*	あらかじめパソコンで必要な設定を行っておくと、アクセスポイントを経由せずに、Eye-Fiカードからスマートフォンやタブレット端末などに直接ファイルを転送することができます。
 ソフト情報	パソコンでソフト情報（ライセンス）を確認できます。
 取扱説明書のWebサイト	取扱説明書（PDF形式）をダウンロードするためのWebサイトへのアクセス方法を確認できます。
 LANGUAGE	画面に表示される言語を設定できます。

* Eye-Fiカード挿入時のみ表示されます。

MENU : 「ビデオの管理」→希望のメニュー項目

メディア、ビデオ / 写真	サムネイル表示するメディアおよびビデオ、写真を変更できます。
リピート再生	最後のシーンの再生終了後に、最初のシーンの再生を開始します。
続きから再生	途中で停止したシーンをもう一度再生すると、続きからの再生を開始します。
シーンプロテクト*	誤って消去しないように、プロジェクト設定できます。(プロジェクトしていても、SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットした場合は消去されます)
選択転送 / プロテクト*	あらかじめパソコンで必要な設定を行っておくと、選択したファイルのみを転送することができます。設定方法などはカードの説明書をお読みいただくな、カードメーカーにお問い合わせください。 ●「選択転送 / プロテクト」を設定したファイルは、プロジェクト設定も適応されます。
ベビーカレンダー設定	ベビーカレンダーに登録した内容を変更または追加、消去することができます。

※ Eye-Fi カード使用時は、「選択転送 / プロテクト」が表示されます。

シーン編集 

メニュー

MENU : 「シーン編集」→希望のメニュー項目

部分消去	AVCHD のシーンの不要な部分を消去します。 消去したシーンは、元に戻すことはできません。
分割	AVCHD のシーンを分割することができます。シーンに不要な部分がある場合は、分割したあとに消去することもできます。
マニュアル編集	AVCHD で記録したシーンの中で、お好みのシーンまたはシーンの一部を撮影した順番に結合して、音楽を付け加えた 1 つのシーンとして再生、保存することができます。
分割消去	MP4/iFrame のシーンを分割して、不要な部分を消去します。シーンを 2 つに分割し、分割点より前または後ろの部分を消去します。分割消去了したシーンは、元に戻すことはできません。
消去	シーンを消去します。
MP4 変換	AVCHD のシーンまたは MP4 のシーンを、パソコンでの再生やインターネット上のアップロードに対応した画質 MP4 (1280×720/30p) または MP4 (640×360/30p) のシーンに変換してコピーします。
リレーシーンまとめ	リレー記録で記録した内蔵メモリーのシーンと、続けて記録した SD カードのシーンを SD カードに 1 つにまとめることができます。(AVCHD のシーンのみ「リレーシーンまとめ」できます)
リレー情報解除	リレー記録情報を解除します。

MENU : 「写真の管理」→希望のメニュー項目

メディア、ビデオ / 写真	サムネイル表示するメディアおよびビデオ、写真を変更できます。
シーンプロテクト*	誤って消去しないように、プロテクト設定できます。(プロテクトしていても、SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットした場合は消去されます)
選択転送 / プロテクト*	あらかじめパソコンで必要な設定を行っておくと、選択したファイルのみを転送することができます。設定方法などはカードの説明書をお読みいただくな、カードメーカーにお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none">「選択転送 / プロテクト」を設定したファイルは、プロテクト設定も適応されます。
消去	写真を消去します。

※ Eye-Fi カード使用時は、「選択転送 / プロテクト」が表示されます。

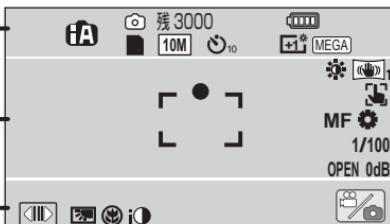
画面の表示

■ 撮影表示

(ビデオ撮影モード時)



(写真撮影モード時)



A

iA / **iA** / **iP** / **iM** / **iC** / **iL** / **iF** /
iS

インテリジェントオート (P33)

iP+ / **iM+** / **iC+** / **iL+** / **iF+** / **iA+** /
iA+

インテリジェントオートプラス

DIOR / **8mm** / **SILN** / **INTV**

クリエイティブコントロールモード

☆ / **♪** / **◎** / **●** / **✿** / **♪** / **✿** / **▲** / **✿** /
♪ / **✿**

シーンモード

MNL マニュアルモード

●/II (赤) 記録中

II (緑) 撮影の一時停止中

0h00m00s 撮影経過時間 (P28)

(hは「hour (時間)」、mは「minute (分)」、sは「second (秒)」を省略した表示です)

Eye-Fi / **Eye-Fi** / Eye-Fi 転送

■ バッテリー残量 (P19)

■ 内蔵メモリー記録可能状態

■ (白) カード記録可能状態

■ (緑) カード認識中

1080/60p / **[PH]1080** / **[HA]1080** / **[HG]1080** / **[HE]1080** /
[1080] / **[720]** / **[iFrame]**

記録モード

残1時間20分 残り記録可能時間 (P28)

□ リレー記録

○ (白) 写真記録アイコン

○ (赤) 写真記録中

残 3000 写真の残り記録可能枚数 (P29)

[10M] / **[2.1M]** / **[7.4M]** / **[0.3M]** / **[7.7M]** / **[2M]**

写真の記録画素数 (P29)

他の機器で記録した写真は、上記以外のサイズの場合は再生時にサイズ表示されません。

○10/○2 セルフタイマー

MEGA MEGA OIS

メニュー

大事なお知らせ

B

 PRE-REC	PRE-REC
 インターバル記録	インターバル記録
 ZOOM	ズームマイク
 ² _{ch}	ステレオマイク
 風音低減	風音低減
 ^{G1} / _{G1}	パワーランダウ
 /  /  /  /  /  / 	手ブレ補正 / 手振れロック機能
 画質調整	画質調整
 ^D _C	デジタルシネマカラー
 ⁰	明るさ調整 (ジオラマ撮影 / 8 ミリムービー / サイレントムービー)
 ⁰	鮮やかさ調整 (ジオラマ撮影)
 ^B	色合い調整 (8 ミリムービー)
 ⁰	追っかけフォーカス
 ^s	傾き補正 (P31)
 ⁰	タッチシャッター
 MF	マニュアルフォーカス
 ⁰	ホワイトバランス設定
1/100	シャッター速度
OPEN/F2.0	絞り値
0dB	ゲイン値
○ (白) / ● (緑)	シャッターチャンスマーカ (P29)

C

 ⁰	くるくる回転メニューバー表示 (P25)
 ⁰	逆光補正
 ⁰	テレマクロ
 ⁰	コントラスト視覚補正
 ^{2ch}	マイクレベル
 ^W /  ^B	フェード (白) / フェード (黒)
 ⁰	ナイトモード
 ⁰	暗部補正
 ⁰	ワールドタイム設定
 ⁰	撮影切り換えアイコン (P23)
15:30	時刻 (P26)
2016.12.15	年月日 (P26)

■ 再生表示

▶/◀/▶▶/▶▶▶/◀◀/◀◀◀/▶/◀/◀	
▶▶/◀◀/▶/◀/◀/▶/◀/◀	
再生中表示 (P35)	
0h00m00s	再生時間 (P35)
No.10	シーン番号
⟳	リピート再生
▶▶	続きから再生
100-0001	写真フォルダー / ファイル名
Om	選択転送 / プロテクト設定済み
AVCHD / 1080/60p / 1080/60i / MP4/iFrame / 1080 / 720 / 360 / iFrame	
プレイモード選択表示 (P34)	
60p	AVCHD「1080/60p」のシーン (P34)
PH	AVCHD「PH」のシーン (P34)
HA	AVCHD「HA」のシーン (P34)
HG	AVCHD「HG」のシーン (P34)
HE	AVCHD「HE」のシーン (P34)
1080	MP4「1080/60p」のシーン (P35)
720	MP4「720/30p」のシーン (P35)
360	MP4「360/30p」のシーン (P35)
iFrame	iFrame のシーン (P35)
⌚	リレー記録したシーン
DiOR	ジオラマ撮影したシーン
↔	インターバル記録したシーン
DL	ムービースライドショーで保存したシーン
Eye-Fi	Eye-Fi 転送状況

■ USB ハードディスク接続時の表示



USB ハードディスク再生

■ 他機器接続表示



カードアクセス中 (P40)



内蔵メモリーアクセス中 (P40)

■ 確認表示

— (時刻表示) 内蔵日付用電池が消耗したとき



対面撮影時の警告



SD カードが入っていないとき、または使用不可カード

メッセージ表示

文章で画面に表示される、主な確認 / エラーメッセージの例です。

定期的に内蔵メモリーのバックアップをとることをお勧めします。

内蔵メモリーに記録したビデオや写真は、定期的にパソコンやディスクなどにコピーしてください。このメッセージは内蔵メモリーの異常をお知らせするものではありません。

カードを確認してください。

非対応のカード、または本機で認識できないカードを入れています。

SD カードにビデオや写真が記録されているのにこの表示が出る場合は、SD カードの状態が不安定になっていることが考えられます。SD カードを挿入し直して、電源を入れ直してください。

このバッテリーは使えません。

- 本機で使用できるバッテリーをお使いください。(P17) 本機に対応したパナソニック製バッテリーをお使いの場合は、バッテリーを外し、再び取り付けてください。
何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
- 本機に対応していないACアダプターをお使いの場合は、付属のACアダプターをお使いください。(P18)

この外部ドライブは使用できません。/ 外部ドライブを確認してください。

- 本機で認識できない外部ドライブを接続しています。本機と接続して使用できる USB ハードディスクか確認し、接続し直してください。

故障かな!? と思ったら

■ 次のような場合は、故障ではありません

本機を振ると「カタカタ」音がする	● これはレンズが移動する音です。故障ではありません。 電源を入れて、ビデオ撮影モードまたは写真撮影モードにすると音はしなくなります。
被写体がゆがんで見える	● 本機の撮像素子に MOS を使用しているため、被写体が素早く横切った場合、少しうがんで見えることがあります、故障ではありません。
レンズや液晶モニターが曇る	● 露付きの現象です。故障ではありません。12 ページをお読みください。

こんなときは？	ご確認ください
電源	電源が入らない 電源が入ってもすぐに切れる バッテリーの消耗が早い
	電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない
	「電源を入れ直してください。」と表示される
撮影	画面の色合いや明るさが変わったり、画面に横帯が出る 室内で液晶モニターがちらつく
再生	シーンや写真が再生できない

● 詳しくは取扱説明書（PDF 形式）をお読みください。

HD Writer LE 3.0 について

ビデオや写真的データをパソコンの HDD にコピーしたり、ブルーレイディスクや DVD ディスク、SD カードにコピーできます。

■ HD Writer LE 3.0 をインストールするには

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。

- ・本ダウンロードは 2019 年 3 月末日まで有効です。

http://panasonic.jp/support/software/hdw/download/f_le30.html

■ HD Writer LE 3.0 の動作環境

- ・推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ・HD Writer LE 3.0 は Windows 専用です。

対応 OS	Windows 10 (32bit/64bit) Windows 8/Windows 8.1 (32bit/64bit) Windows 7 (32bit/64bit) SP1 Windows Vista (32bit) SP2
CPU	Intel Pentium 4 2.8 GHz 以上の CPU (互換 CPU を含む) <ul style="list-style-type: none">・再生機能を使用する場合は、 Intel Core 2 Duo 2.16 GHz 以上、 または AMD Athlon 64 X2 Dual-Core 5200+ 以上を推奨・編集機能を使用する場合は、 Intel Core 2 Quad 2.6 GHz 以上を推奨・1080/60p の再生、編集機能を使用する場合は、 Intel Core i7 2.8 GHz 以上を推奨
メモリ	Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 : 2 GB 以上 (64bit)、1 GB 以上 (32bit) Windows Vista : 1 GB 以上
ディスプレイ	High Color (16bit) 以上 (32bit 以上を推奨) デスクトップ領域 1024×768 以上 (1920×1080 以上を推奨) DirectX 9.0c に対応したビデオカード (DirectX 10 に対応したビデオカードを推奨) DirectDraw のオーバーレイに対応 PCI Express™ ×16 対応を推奨 ビデオメモリ 256 MB 以上
ハードディスク ドライブ	Ultra DMA-100 以上 450 MB 以上の空き容量 (インストール用) <ul style="list-style-type: none">・圧縮設定を有効にすると記録時にエラーが発生します。ハードディスクドライブの「プロパティ」で「このドライブを圧縮してディスク領域を空ける」のチェックマークを外してください。
サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス インターネット接続環境

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

長期間使用しない場合について

- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

大事なお知らせ

バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微量電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15 ℃~25 ℃、推奨湿度: 40%RH~60%RHです)
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをお勧めします。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。
新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

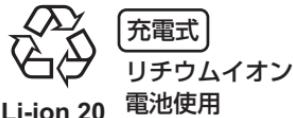
最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ: <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



本機で使用できるバッテリーについて

- 専用バッテリー (VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380) 以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html

なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

品質・性能・安全性などについては、その製造者が責任を負います。

SD カードについて

長時間で使用になると本機や SD カードが多少熱になりますが、故障ではありません。

SD カードにアクセス中 (LCD 表示中や動作中ランプ点灯中) は、以下の動作を行わない

- SD カードを抜く
- 電源を切る
- USB 接続ケーブルを抜き差しする
- 振動や衝撃を与える

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本製品に関するソフトウェアを無断で複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “x.v.Color” は商標です。
- Microsoft®、Windows® および Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel®、Pentium® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon™ は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- iMovie、Final Cut Pro、Mac および OS X は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 「Eye-Fi」は、アイファイジャパン株式会社の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、取扱説明書（PDF 形式）の「セットアップメニューを使う」→「ソフト情報」に記載の方法で表示されるライセンス条件をご参照下さい。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

記録可能時間の目安

- SD カードは主な記録容量のみ記載しています。記載している時間は連続記録可能時間の目安です。

		高画質	長時間			
記録方式		AVCHD				
記録モード		1080/60p	1080/60i			
画素数 / フレームレート		1920×1080/ 60p	1920×1080/ 60i	1920×1080/ 60i	1920×1080/ 60i	1920×1080/ 60i
SD カード	4 GB	約 19 分	約 21 分	約 30 分	約 40 分	約 1 時間 30 分
	16 GB	約 1 時間 20 分	約 1 時間 30 分	約 2 時間	約 2 時間 40 分	約 6 時間 40 分
	64 GB	約 5 時間 20 分	約 6 時間	約 8 時間 30 分	約 11 時間	約 27 時間 30 分
内蔵 メモリー	32 GB	約 2 時間 40 分	約 3 時間	約 4 時間 10 分	約 5 時間 30 分	約 13 時間 40 分

記録方式		MP4/iFrame		
記録モード		1080	720	iFrame
画素数 / フレームレート		1920×1080/ 60p	1280×720/ 30p	960×540/ 30p
SD カード	4 GB	約 19 分	約 1 時間	約 19 分
	16 GB	約 1 時間 20 分	約 4 時間 10 分	約 1 時間 20 分
	64 GB	約 5 時間 20 分	約 16 時間 50 分	約 5 時間 20 分
内蔵 メモリー	32 GB	約 2 時間 40 分	約 8 時間 20 分	約 2 時間 40 分

- 長時間撮影する場合は、撮影したい時間の 3 ~ 4 倍のバッテリーを準備してください。(P19)
- お買い上げ時の「記録方式」の設定は「AVCHD」、「記録モード」の設定は「HG」です。
- 1 シーンの最大連続記録時間：6 時間
- 1 シーンの記録時間が 6 時間になると撮影を一度停止し、数秒後に自動で撮影が再開されます。
- 動きの激しい被写体を記録したり、短いシーンの撮影を繰り返すと、記録可能時間が短くなる場合があります。
- DVD ディスク 1 枚(4.7 GB)にコピーできる時間は、上記の表の 4 GB を目安にしてください。
- ビデオ撮影の残り記録可能時間の表示は最大 99 時間 59 分です。残り記録可能時間が 99 時間 59 分を超える場合は、「残 99 時間 59 分 +」と表示されます。撮影を開始しても 99 時間 59 分以下になるまで表示が変わりません。

デジタルハイビジョンビデオカメラ

電源：

DC 5.0 V (AC アダプター使用時) /
3.6 V (バッテリー使用時)

消費電力：

録画時：2.9 W 充電時：6.0 W

ビデオ記録方式：

AVCHD : AVCHD 規格 Ver 2.0 準拠
(AVCHD Progressive)
MP4/iFrame : MPEG-4 AVC ファイル規格準拠
(.MP4)

映像圧縮方式：

MPEG-4 AVC/H.264

音声圧縮形式：

AVCHD: Dolby® Digital (2ch)
MP4/iFrame: AAC (2ch)

記録モード：

AVCHD

1080/60p : 最大 28 Mbps (VBR)
PH : 最大 24 Mbps (VBR)
HA : 平均 17 Mbps (VBR)
HG : 平均 13 Mbps (VBR)
HE : 平均 5 Mbps (VBR)

MP4/iFrame

1080 : 最大 28 Mbps (VBR)
720 : 平均 9 Mbps (VBR)
iFrame : 最大 28 Mbps (VBR)

ビデオの記録画素数と記録可能時間について
は 60 ページをお読みください。

写真記録方式：

JPEG (DCF/Exif2.2 準拠)

写真の記録画素数、記録可能枚数については
取扱説明書 (PDF 形式) をお読みください。

記録メディア：

SD メモリーカード
SDHC メモリーカード
SDXC メモリーカード

本機で使用できる SD カードについては、
20 ページを参照してください。

内蔵メモリー : 32 GB

撮像素子：

1/2.3 型 MOS 固体撮像素子 × 1

総画素 : 約 1752 万 × 1

有効画素

ビデオ : 約 220 万 × 1 (16:9) *

写真 : 約 220 万 × 1 (16:9)、
約 170 万 × 1 (4:3)、
約 167 万 × 1 (3:2)

レンズ：

自動絞り光学 50 倍電動ズーム、
テレマクロ付き (フルレンジ AF)
F1.8 ~ F4.2 (f = 2.06 mm ~ 103 mm)
35 mm 換算

ビデオ : 28 mm ~ 1740 mm (16:9) [※]
写真 : 28 mm ~ 1740 mm (16:9)、
34 mm ~ 1766 mm (4:3)、
33.6 mm ~ 1714 mm (3:2)

最短撮像距離

通常時 : 約 2 cm (WIDE 端) /
約 2.2 m (TELE 端)
テレマクロ時 : 約 1.1 m (TELE 端)
iA マクロ時 : 約 1 cm (WIDE 端) /
約 1.1 m (TELE 端)

ズーム：

iA ズーム切 62 倍 [※]・iA 90 倍・
デジタル 150 倍 / 500 倍
(撮像素子有効エリア利用)

手ブレ補正：

光学式 (ハイブリッド手ブレ補正、アクティ
ブモード (回転補正) 搭載、手振れロック
機能搭載)

傾き補正：

切 / 標準 / 強

クリエイティブコントロール：

ジオラマ撮影 / サイレントムービー /
8ミリムービー / インターバル記録

モニター：

2.7 型ワイド液晶モニター (約 23 万ドット)

マイク：

ステレオマイクロホン (ズームマイク機能付き)

※「手ブレ補正」が「スタンダード」、「傾き補
正」が「切」のとき

最低照度：

約 4 lx (シーンモードローライト 1/30 時)、
ナイトモード時 約 1 lx

AV 端子映像出力：

1.0 Vp-p 75 Ω NTSC 方式

HDMI ミニ端子映像出力：

HDMI TM (x.v.Color TM) 1080p/1080i/480p

AV 端子音声出力：

251 mV 出力インピーダンス 600 Ω
2ch

HDMI ミニ端子音声出力：

AVCHD : Dolby Digital/
リニア PCM
iFrame、MP4 : リニア PCM

USB :

リーダー機能
SD カード : 読み込みのみ
(著作権保護機能無し)
内蔵メモリー : 読み込みのみ
ハイスピード USB (USB 2.0)、
micro-AB 端子、
Host 機能 (USB ハードディスク用)、
バッテリー充電機能 (本体電源 OFF 時に USB
端子から充電)

外形寸法 (突起部含む) :

幅 53 mm × 高さ 59 mm × 奥行き

116 mm

付属バッテリー装着時 :

幅 53 mm × 高さ 59 mm × 奥行き

121 mm

本体質量 :

約 213 g (バッテリー含まず)

使用時質量 :

約 256 g (バッテリー使用時)

許容動作温度 :

0 °C ~ 40 °C

許容相対湿度 :

10%RH ~ 80%RH

バッテリー持続時間 :

19 ページをお読みください。

AC アダプター

電源

AC 100 V ~ 240 V 50/60 Hz

入力容量

19 VA (AC 100 V 時) /

24 VA (AC 240 V 時)

出力

DC 5.0 V 1.8 A

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)

== DC (直流)

□ クラス II 機器 (二重絶縁構造)

| ON

○ スタンバイ

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

（転居や贈答品などでお困りの場合は、66 ページの窓口にご相談ください）

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () 一

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「故障かな！？と思ったら」(52~53ページ) および取扱説明書 (PDF 形式) でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーと一緒に修理をご依頼ください。

●製品名 デジタルハイビジョンビデオカメラ

●品 番 HC-V480MS

●故障の状況 できるだけ具体的に

愛情点検



長年ご使用のデジタルハイビジョンビデオカメラの点検を！

こんな
症状は
あります
か

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やACアダプターが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルハイビジョンビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

大事なお知らせ

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>



LUMIX (ルミックス)・ムービー
使い方・お手入れなどのご相談窓口



0120-878-638

バナは ロクサンハチ

受付時間
9:00~18:00 (年中無休)

■上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAXフリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



0120-878-554

バナは イイヨ



■上記電話番号がご利用いただけない場合
03-6633-6700

■FAXフリーダイヤル
0120-878-225

便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知させていただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2016

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 一般家庭用以外（例えば、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間にについては取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.



Panasonic

持込修理

デジタルハイビジョンビデオカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品 番	HC-V480MS		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※ お買 い上 げ日	年	月	日
※ お 客 様	ご住所	お名前	様
	電話 ()	—	
※ 販 売 店	住所・販売店名		
	電話 ()	—	

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号 TEL (077) 563-5211

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。